



臨時下校訓練、ご協力に感謝します！

昨日3日（木）午後、臨時下校訓練を行いました。今回の訓練は、大雨等で急な下校対応の指示が教育委員会から発せられることを想定し、保護者の皆様のご理解・ご協力をいただいてテストパターンとして行うものでした。



下校先集約のために、前日夕方までに下校方法について Web 回答をしてもらい、218件の回答をいただきました。ほとんどの児童の下校先が集約できたのですが、未回答の家庭もありました。そこには地区担当の職員が電話連絡で確認をしました。

学校で設定している3つの臨時下校のうち、今回はBパターンで行い、お迎えは児童玄関から体育館へ移動し、地区担当と確認して児童を引き取るという流れです。地区別に徒歩で下校する児童は、職員が引率して下校しました。

今回の訓練を通して、安全でスムーズな臨時下校を行ううえでの課題も見つかりました。

- ① Web回答のない家庭は、メール未到達（スマホの設定状況）が多い。
 - ② Web回答に子どもの氏名の入力がない場合がある。
 - ③ 本番で、短時間で下校先を集約するには、Webフォームの改善が必要である。
- などです。①は各保護者で努力していただき、②③については学校で工夫していきます。

なお、緊急下校の場合、スクールネットメールの回線が混み合い、着信が遅延する場合がございます。緊急下校を行う場合は、学校のホームページのTOPでWeb回答の依頼とURLを掲載しようと考えています。

普段から、学校のホームページに関心を持っていただき、1日1回は閲覧することを習慣づけてもらえれば幸いです。

（ホームページは、ほぼ毎日更新するように努力しています。）



一人一台の端末、できるところから活用開始！



1年生の様子

国が示したGIGAスクール構想により、昨年度末に児童生徒に一人一台のタブレットPCが配備されました。急な配備で、周辺環境の整備や職員の活用研修も十分とは言えないのですが、端末を置いておくだけでは意味がありません。

小野小では、「できるところから活用する」という意識を職員で共有して、1年生を含め、全ての学年でタブレットに触らせています。まだ恐々ではありますが、ログインの仕方、写真や動画の撮影などを経験しています。

卒業まで同じ端末を使うことになるので、大事に取り扱うこともしっかり指導しています。

※ 裏面もご覧ください。



【校長の独り言・・・・・・・・】



.....「MOTTAINAI」

.....日本から世界の言葉に!?

「もったいない」は辞典によると、下のような意味です。

もったいな - い【勿体ない】《形容詞》

- ①まだ（他に）役立つのに無駄にされて惜しい。
- ②身に過ぎて恐れ多い。かたじけない。有難い。

もったいないお化け? →



この「もったいない」という言葉。これに相当する外国語はないそうです。『無駄』とか『惜しい』とか、「もったいない」の一部の意味を翻訳することはできても、「もったいない」に含まれる大きな意味を一つの言葉に変換することはできないのだそうです。「もったいない」は、外国語に訳せない日本語だけの単語ということです。

今回は、この「もったいない」をそのまま「MOTTAINAI」という言葉で世界に広めた人を紹介します。アフリカ人女性、ワンガリー・マータイさんです。

ワンガリー・マータイ(Wangari Muta Maathai)

アフリカ・ケニアの農家の生まれ。祖国の貧困や環境破壊に心を痛め、1977年より貧しい女性たちと「グリーンベルト運動」という植林活動を開始。政府の弾圧を受けながらも、のべ10万人が運動に参加し、4,500万本もの苗木を植えた。

2002年には国会議員に初当選し、2003年には環境副大臣に任命された。2004年、環境や人権に対する長年の貢献が評価され、環境分野で初めて、アフリカの女性としても初めて、ノーベル平和賞を受賞。

2005年に日本を訪れた際、「もったいない」という日本語に出会い、感銘を受ける。マータイさんは、この美しい日本語を、環境を守る世界共通語「MOTTAINAI」として広めることを提唱。「MOTTAINAIキャンペーン」がスタートした。

2011年9月、ワンガリー・マータイさんがこの世を去る。彼女の生前の活動を称え、ケニアでは国葬が行われた。



『MOTTAINAI』を世界共通の言葉として広める理由

マータイさんは「もったいない」に感銘を受けた後、この意思と概念を世界中に広めるため他の言語で該当するような言葉を探したそうですが、「もったいない」のように、自然や物に対する敬意、愛などの意思(リスペクト)が込められているような言葉が他には見つからなかったそうです。そこで、マータイさんは『MOTTAINAI』をそのまま世界共通の言葉として広めるようにしたということです。(「世界一受けたい授業」出演時の話より)

「MOTTAINAIキャンペーン」によると、「もったいない」という言葉には、エコ活動でよく提唱される「3R」【Reduce(リデュース：消費削減)・Reuse(リユース：再利用)・Recycle(リサイクル：再資源化)】に加えて、もう一つの「R」【Respect(リスペクト：尊敬)】が含まれているのだそうです。<エコの3R+R(リスペクト) = MOTTAINAI>.....なるほどです。マータイさんについては、6年生の道徳の教科書にも掲載されています。

「物のあふれる時代」と言われて久しいです。私自身も高度成長時代に生まれ育ち、大量生産・大量消費の世の中を生きてきました。しかし、地球の資源は限られていますし、考え方も変わってきました。.....これからの時代は、品性をもって物を大切に、食品ロスを減らすなど、可能な限り地球を長寿命化するような暮らしをしたいと思っています。ご家庭でも、ぜひ「もったいない」を話題にしてみてください。

世界に「MOTTAINAI」を広める前に、日本の子ども、疎早の子どもに「もったいない」を学ばせたいものだと思います。

※ 裏面もご覧ください。